

令和3年12月9日

令和3年度多文化共生の担い手連携促進研修会

長野県における日本語教育人材の 養成と確保に向けた試み



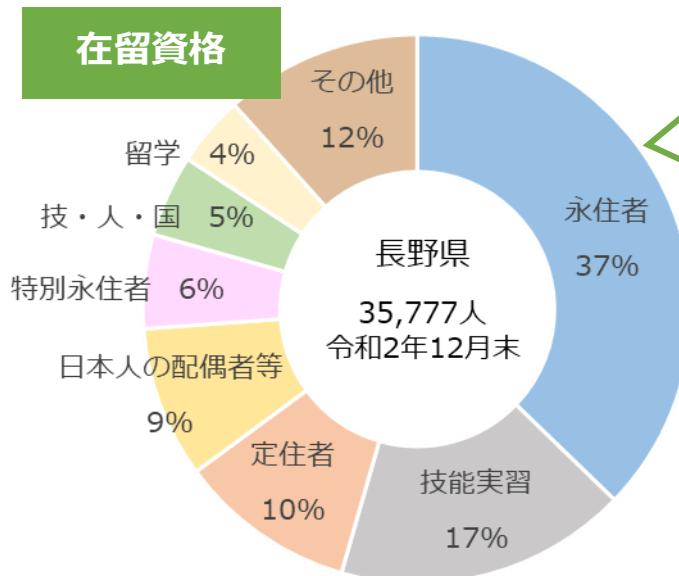
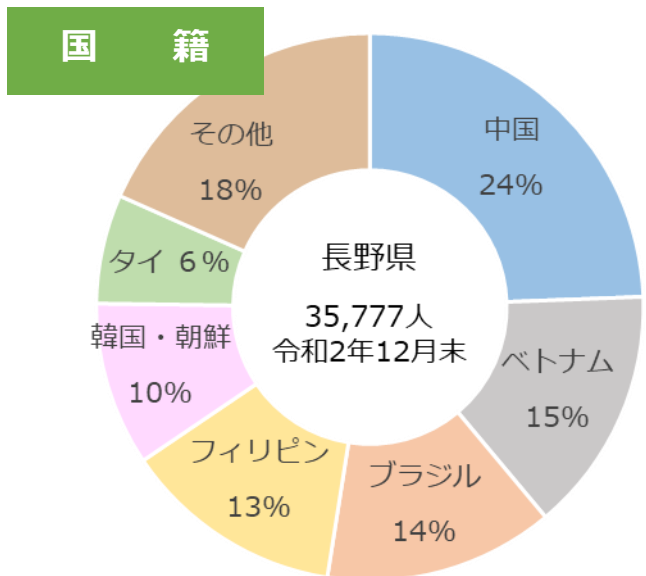
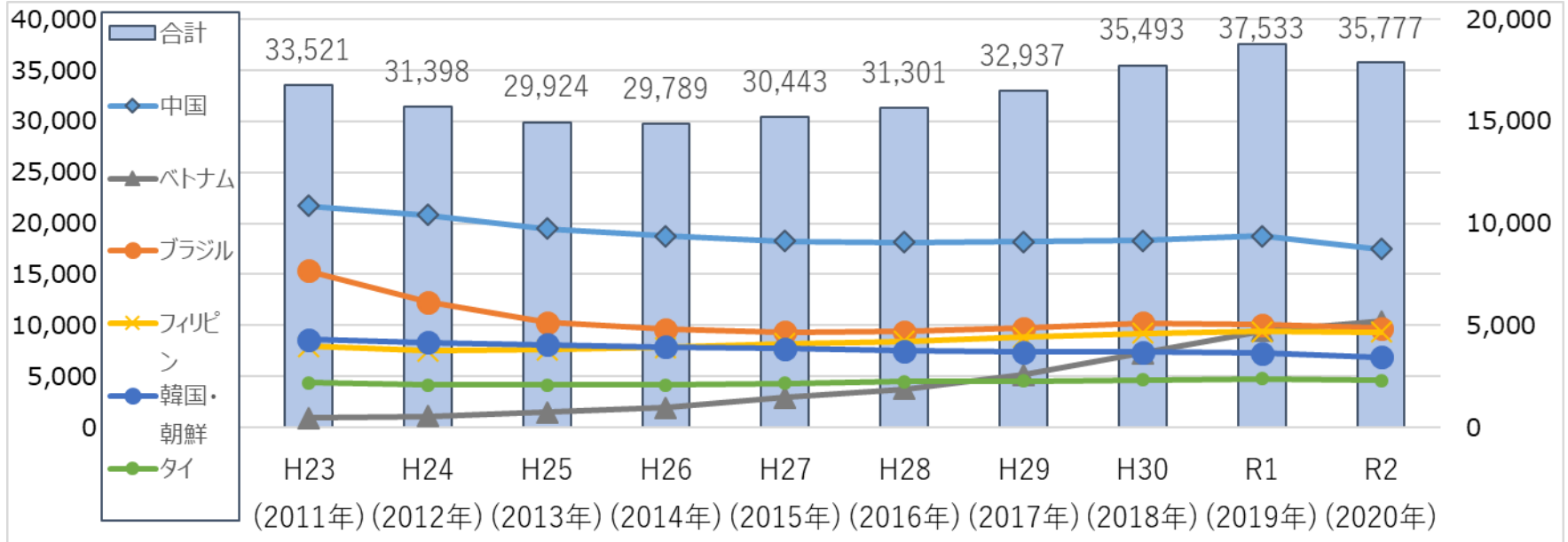
長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

長野県 県民文化部
文化政策課 多文化共生・パスポート室



長野県の在住外国人人数

(長野県：外国人住民統計)



身分に基づく在留資格（※）を持つ外国人の割合が高い

（参考）長野県：58%
全 国：41%

※…永住者、定住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等

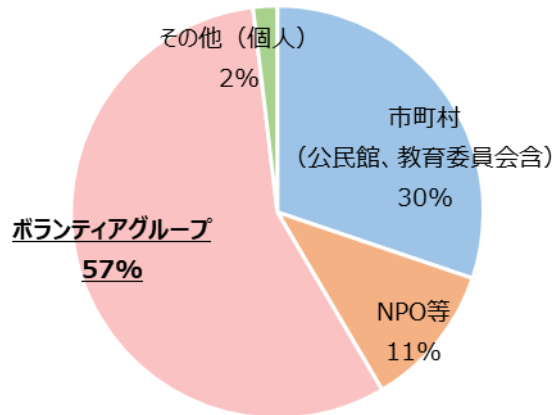
「長野県多文化共生推進指針2020」の策定について 【基本目標】 共に学び、共に創る しんしゅう多文化共生新時代



地域日本語教育の関連事業

県内の日本語教室の現状と課題

✓日本語教室の主催区分



✓教室の運営で困っていること (抜粋)

- ・日本語指導スタッフが不足している
- ・学習者が長続きしない
- ・学習者の日本語レベルが違いすぎる
- ・ボランティアスタッフの知識が不足している

✓市町村や県、国等の行政に望むこと (抜粋)

- ・日本語教室への経済的支援
- ・外国人を雇用している企業の協力
- ・日本語教室の運営や講座内容を充実させるための支援
- ・日本語学習支援者の養成

出典：平成30年度長野県国際課
「日本語学習支援等に関するアンケート調査」

どこに住んでも

日本語教育を受けられる長野県に

事業

地域における日本語教育の支援

地域日本語教室創出事業

[文化庁：地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 (R1～)]

地域における日本語教育の担い手の養成

日本語交流員養成事業

[文化庁：日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業 (H30～R2)]

日本語教育等人材バンクの設立

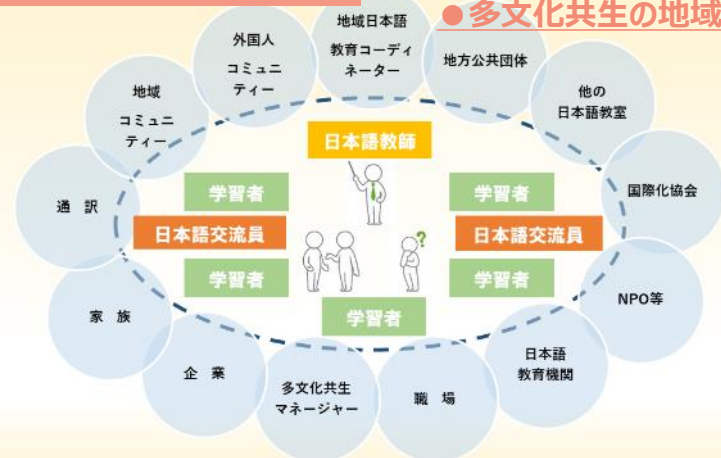
しんしゅう日本語教育等人材バンク

(R2～)

目指すすがた

●日本語教育人材が連携

●多文化共生の地域づくりの拠点



①担い手の養成

日本語交流員養成事業

事業の流れ

すでに地域日本語教室で活動している方・これから携わってみたいという方に活躍してもらいたい

活躍してもらうために必要な資質・能力・知識を習得できる場を

「日本語交流員」養成研修の確立を目指す

H30

- 運営委員会【事業全体の進め方】
- 教育課程検討委員会（3回）【カリキュラムの検討】
- 教材の検討・開発委員会（3回）【ワークブックの検討】
- 養成研修の実施
初期研修（上田・松本）
- 評価検証委員会【事業評価】

R1

- 教育課程検討委員会（2回）
- 教材の検討・開発委員会（2回）
- 養成研修の実施
初期研修（長野・伊那）
スキルアップ研修（上田・松本）
- 評価検証委員会

R2

- 教育課程検討委員会
- 教材の検討・開発委員会
- 養成研修の実施
初期研修（駒ヶ根）
スキルアップ研修（長野）
- 評価検証委員会
- 長野県日本語教育大会、HP上での公開【普及】

成果

教育課程（カリキュラム）・教材（ワークブック）の作成、研修の実践



[文化庁：日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業]

R3

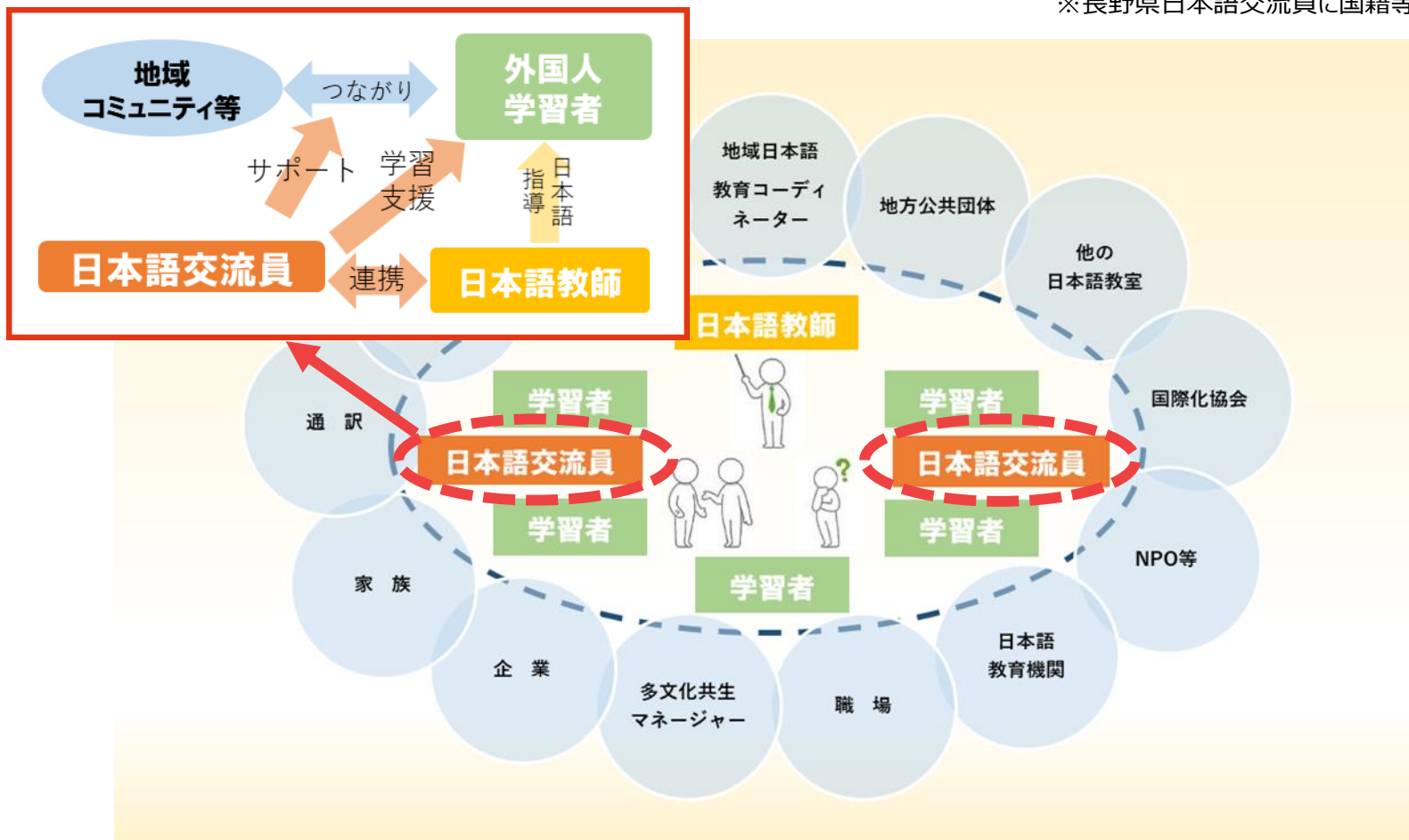
日本語交流員養成研修の継続

日本語交流員とは

①外国人の日本語学習を支援する（発話を促す存在として日本語学習の定着を支援）

②外国人と地域をつなぐ（身近な存在として、地域コミュニティ等と外国人をつなぐ）

※長野県日本語交流員に国籍等の要件はなし



(参考) 長野県日本語交流員養成研修カリキュラムにおける定義
日本語を学習者に直接教えるのではなく、地域と学習者を繋ぐ。地域日本語教育コーディネーター、日本語教師の日本語専門職と連携しながら学習者と共に成長する者。

初期研修

- ◆「知識」「技能」に重点を置いた内容
- ◆ 3 時間× 5 回（オンラインの場合は、内容に応じて 1 回あたりの時間を調整）
- ◆ H30～R3の間に 6 セット（地域）実施
 193名受講（うち未経験者99名）
 163名修了（うち未経験者84名） = **日本語交流員**



	テーマ	内容
1	日本語交流員の役割と多文化共生 （学習者の背景に対する理解）～日本語交流員の役割を学ぶとともに多様性を認め合おう～	日本語交流員に求められる役割、外国人をめぐる国内外の動き、多文化共生とは、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標等
2	長野県、地域の独自性 ～どんな特徴があり、どんな日本語教室があり学習者がいるのかを知ろう～	県内に在住する外国人、多文化共生施策、地域の支援者の状況、地域日本語教育の実施体制と支援者の役割等
3	やさしい日本語 ～日本語交流員として身につけておくべき日本語のスキル～	やさしい日本語とは、やさしい日本語を使ってのコミュニケーションの手法等
4	多文化コミュニケーション ～コミュニケーションから相手の文化を尊重しよう～	異文化理解とは、多文化コミュニケーションとは、傾聴等
5	日本語交流員として ～活動を想定してみよう～	研修の振り返り、外国人支援の様々な事例紹介、日本語交流員としての実践演習等

スキルアップ研修

初期研修修了者
(=日本語交流員)が
対象



- ◆「態度」に重点を置いた内容
- ◆ 3時間×4回（オンラインの場合は、内容に応じて1回あたりの時間を調整）
+「グループ実践」
- ◆ H30～R2の間に3セット（地域）実施
32名受講 29名修了

	テーマ	内容
1	日本語交流員の役割と多文化共生～初期研修の振り返りを通して改めて考えよう～ 地域のリソースと外国人支援～地域のリソースを確認して外国人支援を考えよう～	初期研修受講後の振り返り ・ 私たちの地域の目指す姿 ・ 地域の外国人支援の繋ぎ先 （市役所等行政の担当課、関連のNPO等）
2	コミュニケーション実習～学習支援について、コミュニケーションを通して考えよう～	コミュニケーション実習 （それぞれの“ライフ”の共有→作文） ・ 実践に向けたオリエンテーション ・ 実践課題の設定
グループ実践 実際に地域に入ることを通して、日本語交流員としての学習支援や地域とのつながりの支援について考えを深める		
3	実践の振り返り～振り返りを通して実践について改めて考えよう～ 地域のリソースと外国人支援～地域のリソースを確認して外国人支援を考えよう～	実践の振り返り（活動報告） ・ 独学できる日本語学習教材(自習ドリル、e-Learning、遠隔授業等)の紹介
4	日本語交流員として～長野県の多文化共生社会を思い描こう～	研修全体の振り返り ・ 私たちの地域の目指す姿（再度） ・ 日本語交流員の活躍の場について

日本語交流員の活動

①モデル地域日本語教室

長野県

公募をして派遣

- 地域日本語コーディネーター
- 日本語教師
- 日本語交流員（1回あたり5名まで）

モデル地域日本語教室



実施
地域

- R1 松本（16回）・上田（16回）
- R2 松本（16回）・上田（16回）・駒ヶ根（18回）
- R3 長野（13回）・佐久（9回）・駒ヶ根（16回）
- R4 長野・佐久（予定）

▶ゴミの分別体験



◀ゴミカレンダーの見方を
確認



②その他の地域日本語教室

③個人での活動

②人材の確保

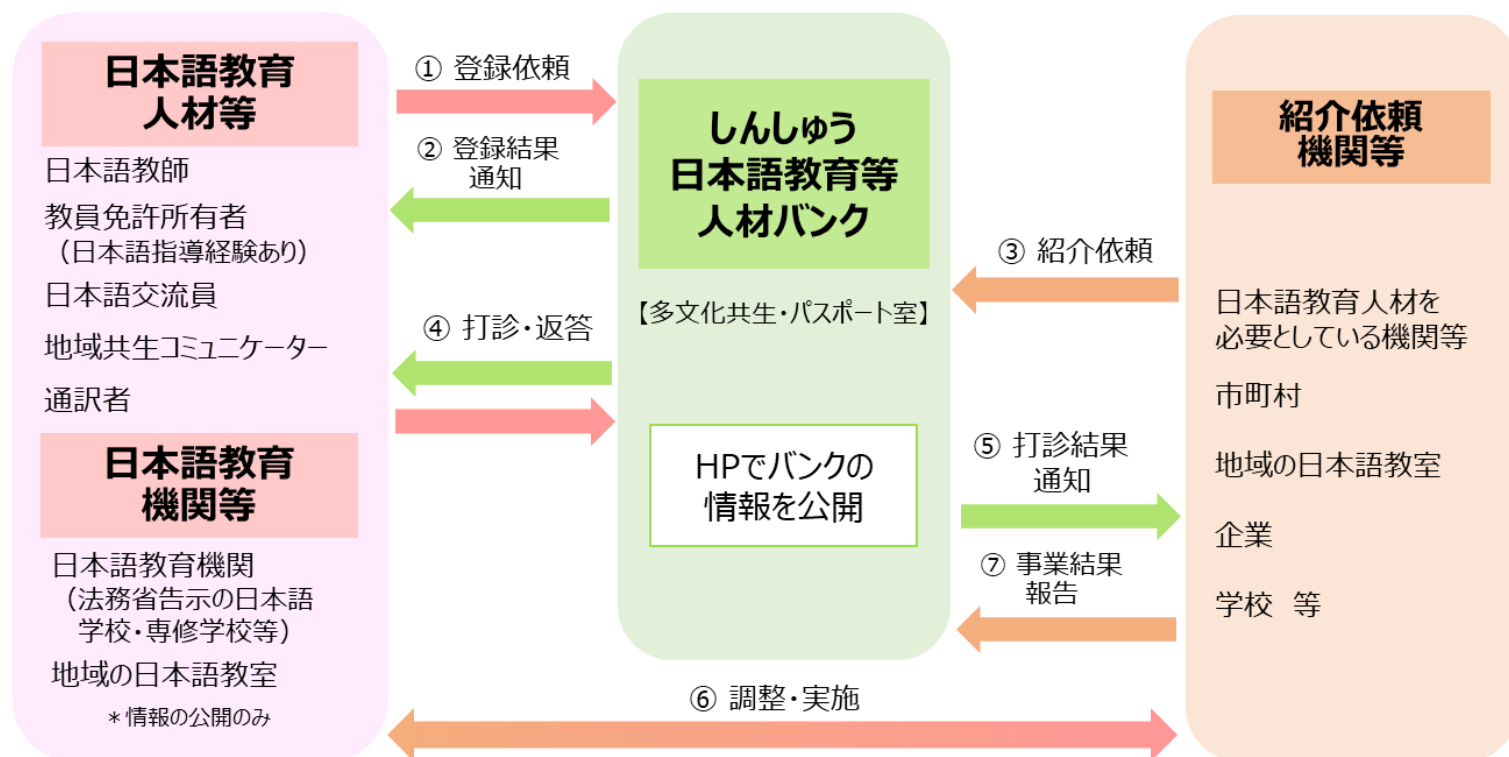
しんしゅう日本語教育等人材バンク

バンクの概要①

目 的

どこに住んでも日本語を学べる地域を目指して、日本語教育に関する経験や能力等を持っている日本語教育人材等と、必要としている団体、企業等とのマッチングを図る

利用のながれ



バンクの概要②

しんしゅう日本語教育等人材バンク

長野県内の日本語教育の充実と多文化共生の地域づくりを推進するため、日本語教育に関する経験や能力を有する人材・機関とそれが必要とする団体等をつなげるための人材バンクです。

日本語教育人材についてはマッチングを、日本語教育機関・地域の日本語教室については本ページでの情報提供を行います。

登録からマッチングまでのイメージ



登録人材・機関（2021年10月26日現在）

しんしゅう日本語教育等人材バンクに登録されている人材・機関です。

人材紹介を希望する方は事前にご確認ください。

全種類一括での名簿はこちら→ [Excel しんしゅう日本語教育等人材バンク全体名簿（エクセル：71KB）](#)

登録一覧	登録している人材等の要件	活動内容
Excel 日本語教師（51名）（エクセル：53KB）	日本語教師の要件を満たす者（一部の要件は見込みを含む）	日本語学習者に専門性をもって日本語を指導する
Excel 日本語指導教員（14名）（エクセル：27KB）	教員免許状及び日本語指導の経験を有する者	学校等において日本語学習等の支援を行う
Excel 日本語交流員（25名）（エクセル：26KB）	県が行う日本語交流員養成研修を修了した者	日本語教師と連携して日本語学習を支援するとともに、学習者と地域をつなげる

HP公開情報

- 登録の種類
(日本語教師の場合は、満たす要件と段階)
- 所有資格
- 実務経験の内容・年数
- 対応可能言語
- 活動形態
(雇用orボランティア)
- 活動可能な地域・曜日・時間
- オンライン対応の可否
- PR

登録者（R3.11.1現在）

人材等の種類	要件	登録者数
日本語教師	日本語教師の要件該当者（一部見込みを含む）	51
日本語指導教員	教員免許状及び日本語指導の経験を有する者	14
日本語交流員	県が行う日本語交流員養成研修を修了した者	25
地域共生コミュニケーター	県が別に募集する地域コミュニケーターに応募し登録された者	11
通訳者	（公財）長野県国際化協会が募集する通訳・翻訳ボランティアに登録した者	9

活用事例

日本語教師・日本語教育機関と企業をつなぐ

しんしゅう日本語教育等人材バンク

長野県内には35,777人（R2.12月末現在）の外国人の方が暮らしており、県内で働く方も、増えてきています。それに伴い、企業が外国人従業員に日本語教育の機会を提供する際の支援を求める声も多く挙がっています。（※）

外国人従業員の日本語教育で困っていることはありませんか。

「しんしゅう日本語教育等人材バンク」は、企業のみならず、長野県で活動する日本語教師・日本語教育機関をご紹介します。

（※）2019年外国人材受入れに関するアンケート調査（県労働雇用課）

登録者数

107名

（2021年10月1日現在、延べ人数）



こんな悩みはありませんか

外国人従業員に、効果的な日本語教育の機会を提供したい

職員間で日本語を教えているけど、専門人材や専門機関を紹介してほしい

もっとコミュニケーションをとるために、外国人従業員に日常生活で必要な日本語を教えてほしい



そんなときは…

「しんしゅう日本語教育等人材バンク」を活用しませんか

日本語教育に関わる人材とおつながします

登録者・機関のPRから（抜粋）

「企業・団体様の要望に合わせたカリキュラム開発と実施、日本語教育人材の育成研修も可能です。」（日本語教師）

「生活や仕事、進学、JLPT受験のための学習、或いは外国人従業員教育等にお応えできます。」（日本語教育機関）

----- これまでにあった紹介例 -----

依頼

対応

形 式：対面
対 象：外国人学生
内 容：学業にも関連した日本語を教えられる人を紹介してほしい
依頼者：県内専門学校

学校のある地域内で、同様の経験を有している日本語教師の登録者を紹介



詳しくは長野県公式ホームページをご覧ください。

長野県 しんしゅう日本語教育等人材バンク

検索

【お問い合わせ先】
長野県県民文化政策課多文化共生・パスポート室
TEL 026-235-7173（直通） E-mail tabunka-c@pref.nagano.lg.jp

事例①

【依頼内容】

形 式：対面

対 象：外国人学生

内 容：学業にも関連した日本語を教えられる人を紹介してほしい

依頼者：県内専門学校

【対応】

学校のある地域内で、同様の経験を有している日本語教師の登録者を紹介

事例②

【依頼内容】

形 式：オンライン

対 象：外国人住民

内 容：オンライン教室で学習支援にあたる日本語交流員を紹介してほしい

依頼者：市町村

【対応】

オンライン対応可能な日本語交流員を9名紹介

**令和2年度
令和3年度**

**実績なし
4件13名**



①担い手の養成：日本語交流員養成事業

- ◆コロナ下における実施方法の検討
- ◆養成後の活躍
 - ・活躍の場
 - ・ネットワーク化

②人材の確保：しんしゅう日本語教育等人材バンク

- ◆活用促進
 - ・事業の周知
 - ・登録側・依頼側の利便性の考慮



ご清聴ありがとうございました